



もてなし」の心でお迎えする事がとても大切かと
存じますので皆様におかれまし
てもよろしくご協力お願いいた
します。

今年度26年は山形にとり重要な年になります。それは、震災以降において最多のイベントが目白押しに開催され、いかに正しく迅速に情報発信し、多くの方々にご来県いただくかであり、ひいてはこの山形の元気を生み出す要因となるものと考えます。
5月23日、24日は被災県以外では初めてとなる東北六魂祭が開かれ、6月4～7日には国際青年会議所アジア太平洋会議があり、続いてJRのDCキャンペーンが6月14日から9月13日にかけて県内各地で行われ陸羽西線開通100周年を記念してSLが走る計画もあります。そして秋、金山町にて皇太子殿下ご夫妻をお迎えしての全国育樹祭等が10月12、13日に開催されます。加えてさらにはキャロライン・ケネディ米駐日大使が来県される可能性もあり、各地域が連携を図り是非成功裏に進めたいと県執行部、県議会も思案しております。どうかお気づきの点がありましたらご連絡下さい。そのような中、フェイスT Oフェイス、「お

伊藤重成 県議会報告

ホームページアドレス
<http://ito-s.info>

メールアドレス
kengi-ito@estate.ocn.ne.jp

レポート

第16号

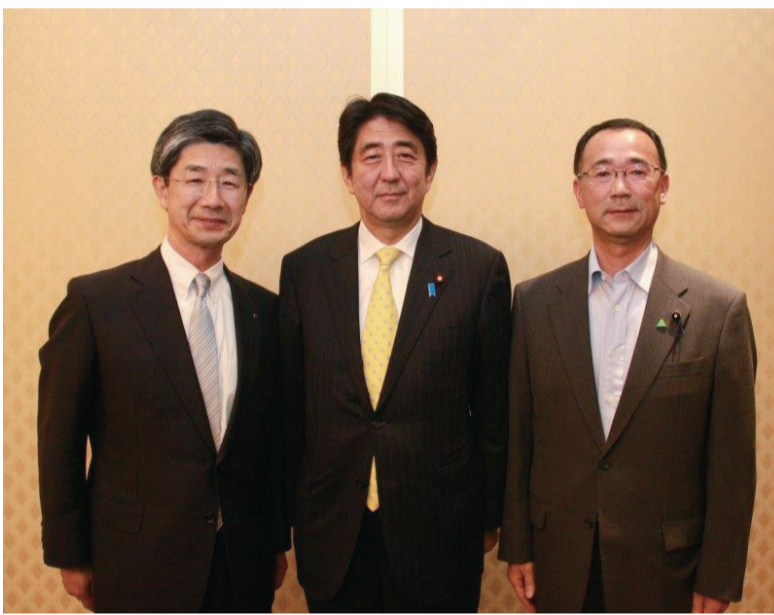
■発行者 / 伊藤重成

■連絡先 / 〒999-4605 山形県最上郡舟形町長沢306

伊藤重成事務所

TEL.0233-33-2755 / FAX.0233-33-2756

食品産業の安全安心



現在、安倍総理は外遊する時、必ずと言って良い程イチゴ等の特産物を夕食会で披露し、農産物輸出の起点になるようにしているとの事です。

㈱でん六は山形を代表する食品会社です。鈴木社長より「でん六豆」が誕生したのは私が生まれた昭和31年と教えていただきました。そう言えば小学生の遠足の時、でん六の工場見学に行き「でん六豆」をもらったことがまだ頭の中にあります。皆様の中には同じような記憶がある方もいらっしゃるのではないかと

と思われる。

誰も口から入るものにはとても神経質になります。会社では原料の仕入れに際しては鈴木社長自ら出かけ、生産指導、品質管理をしているとの事です。また最近ではアレルギー対策にも重きを加え、幼児・児童の保護者にも理解できるよう表示に工夫を凝らしているようです。(3人は成蹊大OBで鈴木社長は安倍総理と同学年になり、私は安倍総理と同じ法学部政治学科の2年後輩になります。来県した際に時間をいただきました。)

「サクランボ県知事です」

トップの意気込み！かぶり物着け 観光PRを指示！ 吉村知事訓示

2014年度がスタートした1日、吉村美栄子知事は県庁で約500人の幹部職員を前に訓示し、年度中に県内で相次ぐ大規模イベントに向け、自らサクランボのかぶり物を着け、「『発信元年』と位置づけ殻を破って県の良さを積極的に発信してほしい」とアピール強化を指示した。

吉村知事は情報発信については「いいものがたくさんあるのに情報発信ができていなか



サクランボのかぶり物を着け、発信力の大切さを強調する吉村知事と山形デスティネーションキャンペーンキャラクターの「きてけるくん」

ったと言わざるを得ない」と述べた上で、おもむろに演壇下に隠していたかぶり物を着けると「ここまでやるかと迷ったが、思い切って勇気を出した」と話し、情報発信の強化を呼び掛けた。(4月2日 山形新聞掲載)

オリンピック選手輩出プロジェクト

- 山形県スポーツタレント発掘事業 「YAMAGATA ドリームキッズ」小5～中3
- オリンピックチャレンジ事業 U-15

本県から国際舞台で活躍する選手を輩出するため、県内に選手育成の基盤を作り、本県で育った選手の活躍により県民に元気・活力・勇気を与え、本県のスポーツ活動の振興を図るとともにスポーツを通してよりよい教育と本県の活性化につなげることをねらいとする。

また、スポーツを通して社会適応能力、人間性、国際性なども育成し、将来の本県リーダーとしての資質を高めるとともに、2020年東京オリンピックへの選手の輩出を目指し、その前に開催される南京、インスブルックのユースオリンピックにおいても本県から選手を輩出し、国際大会での競争力を高める。

オリンピック選手輩出プロジェクト



オリンピックチャレンジ事業参加者の選抜について

